

中学校の部 優秀賞

すてきな町なのに・・・

由布市立庄内中学校 3年

えとう ひなた  
衛藤 陽

ある日、私は「学校が閉校する」という言葉を耳にしました。当時小学校2年生だった私にとって大好きだった学校がなくなることは、とても悲しくて衝撃的なことでした。トトロに出てきそうな通学路や、兄弟のように仲の良かった友達、少人数の学校だからこそできた地域の人と協力して完成させる運動会。たった3年間しか通っていなかったのに、中学校3年生になった今でも、数えきれないほどの楽しかった思い出が浮かび上がってきます。2年生だった私は、絶対閉校したくないという思いで友達と一緒に先生方にたくさん「閉校させないで。」「学校がなくなるの絶対にいや。」と言いました。しかし、もう決まってしまうことだったので、先生方からはいつも「ごめんね。先生たちもいやなだけけど。ごめんね。」と言われ、悲しい気持ちになっていました。友達と一緒に休み時間に、作戦会議をした日もありました。今思えば何してたんだろうと思うようなことだったけど、当時はそれくらい閉校させないために必死でした。そうしている間にあっという間に1年が過ぎてしまいました。人数が少ない分、大変なことも多くありましたが、兄弟のように仲の良い友達や、明るく優しい先生方のおかげで3年間、毎日が楽しくて私の宝物になりました。

私の町には、もう一つ宝物があります。それは、地域の方です。私が住んでいる地域は人口がとても少なく、子どもはほとんどいません。私が弟と散歩をしていると、「仲良しやね。元気をもらえるわ。気をつけて行っておいで。」と地域の方が喜んでくれます。私はそんな優しい地域の方が大好きです。人口が少ないこの地域を選んで移住してくれる人もいます。私は仲間が増えたように感じ、とてもうれしいです。しかし、ほとんどの移住者が1年もたたないうちにこの地域からでていってしまいます。私は、こんなすてきなところなのになんででていってしまうの？魅力が伝わらなかったのかな？と少し悲しくなります。そんな人口が減ってしまっているこの地域にも1年に1度のイベントがあります。それは、閉校してしまった学校で行われる、ふるさとまつりです。地域の方が、お店をだしてくれたり、はさま太鼓や神楽の披露があったりと、子どもからご高齢の方まで楽しめるイベントです。去年は、APUの方も来てくださりとても盛り上がりました。このように地域の文化にふれ、地域の方と交流できる機会があることで、移住してくてくれた方にたくさんの魅力を伝えられるチャンスだと私は思います。

今は、学校や人口、お店など様々なものが減ってしまっています。ですが、私が大好きな自然豊かな通学路も、優しく明るい元気な地域の方も、地域の方と協力してつくりあげるイベントもまだ残っています。このようなすてきな魅力が1つでも欠けてしまう前に、一緒にこの地域で過ごす仲間を増やしたいです。そのためには、今話し合いを進めてくれている大人たちだけでなく、私たちのような数少ない子どもたちも積極的にイベントに参加し、盛り上げることが大切だと思っています。そして、地域の魅力を受けつぎ守っていくことも必要だと思います。今まで守り続けてくれている、地域のおじいちゃんおばあちゃんが安心して私たちに地域を任せられるよう、まずは交流の場を増やし、私たちのことを知ってもらいたいです。

これから先どんな月日がたっても、このすてきな町を守っていきたいです